

## 衣類のお手入れ通信

1月は例年より寒さが厳しかったですね。冷え症対策として靴下を履いて寝るのは逆効果なのだとか。足裏は体温センサーの役目をしており、靴下で足裏を保温してしまうと脳は「体が温まっている」と勘違いして血液循環がうながされず、体温が上がらないそうです。寝るときに足が冷えるならレッグウォーマーがお勧め。締めつけ感のないものがベストですよ。

### 【タイトなデザインの衣料の注意点】

近年は体にフィットするタイトなデザインの服がかなり流行していますね。素材の特性も進歩し、ストレッチ性にも優れ、着心地も大変良くなってきているようです。ただし、着用回数が増えるにつれ、次のような点に注意が必要です。

ナイロン素材でできている服の場合、素材に対し縫い糸が滑りやすくなっています。着用時に縫い糸に負担がかかりすぎると糸が抜けてしまい、裂けたような状態になります。ジャケットならば脇や背中部分、パンツならばお尻の縦の縫い代や、股の内側の縫い代部分におこります。また、複数の糸を混合して作られている服は、各々の糸には強度差があります。着用しているうちに、耐久力が弱い糸が強い糸に負けてしまい、着用時の摩擦によって弱い糸が切れて裂けやすくなります。ときどき着用後に点検しておくといよいでしょう。

そして、タイトなデザインでありながら、ストレッチ性に優れている理由として挙げられるのは、ポリウレタン素材の進化です。以前は一着の服に混紡されているポリウレタン素材の割合は全体の2～3%でした。しかし近年になって、よりストレッチ性が求められるようになり、その割合は5%前後、多いものでは10%を超えるポリウレタン素材が混紡されています。その分、着心地はより快適にはなりましたが、ヒジやヒザが当たる部分は少し着用しただけでもその部分が凸型に伸びてしまったり、デニム類は縦方向に丈が伸びてしまったり、着用回数が増えると服全体に弱いシワが目立ってくるようになります。そして混紡率が高くなればなるほどその現象は激しくなり、衣服の寿命も短くなります。**10%を超えるものは購入して1年しかもたないものもあります**。特にニット製品にはご注意ください。また伸び縮みの回数が多いスポーツの着用にも不向きといえます。

**保管の際も湿度が多いところは避けて、ハンガーにかけるよりは平らな所にたたんでおくことをお勧めします。**

定休日：日曜日・祝日      営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6      TEL・fax0567-26-9880      <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。